



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第106号
平成29年2月号

『後期後半のはじまり！楽しかった餅つき大会！』

本格的な冬本番の季節風が吹く寒い朝を迎えています。いよいよ中国の『春節』を迎えると、暦の上では「春」がやってきます。

杭州日本人学校は、1月5日（木）の「後期後半開始集会」から授業が始まりました。元気そうな子どもたちの顔を見て、安心しました。

集会では、私から「箱根駅伝の創始者：金栗四三氏」についてお話しました。杭州っ子の平成29年（2017年）の「目標」は、何に決まったでしょうか。各学級で目標について発表し合い、自分で書き、掲示板に張り、

全員で確かめあったことでしょう。翌6日（金）、恒例の「百人一首大会」と「書き初め会」が開催されました。PTA広報役員の皆様が来校され、記録写真を撮っていただきました。1年生から8年生まで、それぞれの課題に挑戦して、昨年より一歩成長した成果を挙げていました。「書き初め会」では、丁寧に力強い文字が書きあがりました。終了後百人一首大会の優勝・準優勝者などの表彰を行いました。

1月14日（土）は、杭州っ子たちが楽しみに待ち望んでいた「PTAもちつき大会」が盛大に開催されました。当日は、上海総領事館青山領事部長、田川学校運営委員長様をはじめ、ぱんだ組から小中学部の子どもたちと保護者の皆様に多数ご参加いただきました。学校中がとても賑やかに晴れやかな雰囲気になりました。ぱんだ組さんも初めて餅つきを体験する不安と喜びが顔に出ていました。うまく餅つきができたかなあ？餅つきの後は、PTA役員さんに作っていただいた三種餅「あんこ」「きなこ」「のり」と「お雑煮」を美味しくいただき、身も心もすっかり温まりました。

体育館では楽しいゲームなどで身体を動かし、なかよく楽しい時間を過ごすことができました。日本の伝統行事の素晴らしさを子どもたちに伝えていただいた河村PTA会長はじめPTA役員の皆様の企画・事前準備から、当日運営の細かい部分までご配慮いただきましたことに、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。

1月28日から「春節休み」に入り、中国のお正月を家族揃って楽しく過ごされることと思います。学校でもインフルエンザ流行による体調不良を防ぐため、うがい、手洗いの励行を子どもたちに呼びかけています。海外旅行では、テロ事件に遭遇しないための注意が必要になってきます。特に、不特定多数の人々が集まる場所は、十分気を付けていただきますようお願いいたします。

そして、2月6日（月）の全校朝会で、元気な子どもたちの笑顔を見たいです。それでは、ご家族そろって楽しい春節休みをお過ごしください。



☆避難訓練＜地震＞（1月17日）☆

今回の避難訓練は休み時間中に地震が起きた場合を想定しておこなわれました。いつもと違い、自分たちで身の安全を確保し、自主的に避難するものでした。本当に地震が起きたときにどうすればよいか、一人ひとりがしっかりと考えることができる訓練となりました。「備えあれば憂い無し」、「自分の身は自分で守る」という意識を持つことが大切です。